

# 鉄道ピクトリアル

2005年8月号 Vol.55 No.8 通巻No.764

<特集> 惜別 JR東日本103系

■表紙 終焉迫るJR東日本103系の雄姿……………編集部

京葉車両センター 2005-6-7

パンタックス67 SMCパンタックス105mm 絞りf16~22 タイム1/15 RVPF

■カラ—

首都圏103系電車の40年 (1~8ページ)

巴川国久・河原慶明・久保 敏・巴川享則  
進藤 匡・杉崎健一・大里信之・鈴木武夫  
……………佐藤利生・静 拓志・大沼一英・白井明王  
工藤大介・芳田あきら・三ッ谷政久

Pictorial Color Gallery “不惑”の年を迎えた

山陽電鉄3000形アルミカー……………和田 京太… 73

阪急電鉄のヘッドマーク付き列車 2004年度版……………成瀬 伸夫… 78

〔新京成電鉄N800形/東京都交通局E5000形/大糸線の  
キハ52形/茨城交通でGWイベント開催/上信電鉄デ  
キ1形「ファンタジー2005号」運転ほか〕……………76~77・80

■グラフ

国鉄〜JR 東日本の103系電車……………構成：編集部… 25

103系電車発祥の路線 山手線と103系……………構成：編集部… 34

北海道だより……………佐藤邦弘/松居国男… 40

トピック・フォト (各地・関東・中部・関西)……………81

琴電 2004年度の動向……………三谷 智… 88

名鉄・豊鉄 路面電車のわだい……………白井良和ほか… 91

北陸ニュース……………堀田浩史・杉下浩生ほか… 92

D51その一族—1115分の1の素顔—(75)……………構成：編集部… 94

JR 福知山線で脱線事故……………構成：編集部… 96

■本 文

今月の話題：惜別 JR東日本103系……………編集部… 9

JR 東日本103系電車の取替計画—E231系の投入と205系の転配—

……………白土 裕之… 10

103系の走行機器あれこれ……………真鍋 裕司… 21

103系とは もともとどういった車両だったのか……………曾根 悟… 42

回想 青梅・五日市線103系電車の編成バラエティ……………巴川 享則… 44

私の103系撮影日記

—南武・青梅・仙石線にその姿を追って—……………岡田 誠一… 48

国鉄通勤冷房の祖 103系試作冷房車……………高瀬 智嗣… 52

JR 東日本 103系車両更新工事の記録……………芳田あきら… 56

2005(平成17)年4月1日現在 JR 東日本 103系車両更新工事車一覧

……………芳田あきら… 64

JR 東日本 東京圏103系電車の概況……………編集部… 72

\*

鉄道の話……………編集部… 41

書評(502)『流線形列車の時代—世界鉄道外史—』……………和久田康雄… 97

回想 わたしの鉄道趣味史(8) 乗り歩きから調査にまで広がった

外国旅行—産業遺産への着目—……………中川 浩一… 98

ノッティングム・トラムの現況……………金口 恭久…102

人文地理学会例会報告……………松原 光也…107

名古屋鉄道ダイヤ改正補遺……………徳田 耕一…108

5月のメモ帳……………110

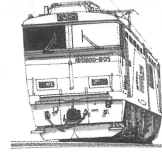
読者短信・情報ファイル……………111

後部車から……………115

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

## 惜別 JR東日本103系

1963(昭和38)年に登場して以来、1982(昭和57)年度に至るまで3,500両に及ぶ増備が行われた103系電車は、国鉄電車の系列として最多両数を構成した。これまで投入されてきた都市圏および地区は、東京圏をはじめとして、仙台、名古屋、関西圏、福岡、そして近年は山陽本線にも進出している。103系は技術的評価はさておき、大都市通勤輸送の近代化に大きな役割を果たし、まさに国電の顔として一世を風靡してきたことは間違いない事実であり、国電区間では、全盛期はどこへ行っても103系で、乗るのも見るのも飽き飽きといった思い出を持たれている向きも多いかと思う。こうした103系最大の活躍の場はやはり東京圏であったわけだが、JR東日本通勤電車の世代交代にともない間もなくその管内から姿を消そうとしている。

JR 東日本は1987(昭和62)年の発足時、103系を2,418両継承した。JR 発足時点の103系全在籍両数は3,436両であるから、全体の70%がJR 東日本所属となり、そのほとんどが東京圏で国鉄時代に引き続いて運用された。しかし、1990年代以降、輸送サービスの向上等をめざして205系に代えて209系を開発し、101系や103系電車の淘汰を進めた結果、JR 発足10年目の1997(平成9)年3月末時点で103系は1,640両まで減少した。さらに、その後は電車制御システムを高度化したE231系を急ピッチで投入、旧形車と化した103系を駆逐していった。その結果、本年2005(平成17)年度初における103系の在籍は保留車等を含めて146両となり、JR 東日本では本年度中に営業からは全車引退させる計画であるという。現在、京葉、武蔵野、常磐、鶴見の各線で後継車とともに103系が最後の雄姿を見せている。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI

Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawa-machi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan